

雲仙普賢岳の現状と防災上の課題

○雲仙普賢岳溶岩ドーム周辺の防災

(国土交通省 雲仙復興事務所長 田村圭司 先生)

○島原半島に関わる地震について

(九州大学地震火山観測研究センター長 清水 洋 先生)

○全国の火山の動向-富士山をはじめとして-

(国立科学博物館 研究主幹 佐野貴司 先生)



雲仙普賢岳の噴火から 20 年経ちましたが、溶岩ドームの崩落の危険性はゼロではありません。ドーム周辺の防災について雲仙復興事務所田村所長に伺います。また、過去には島原大変や大正の島原地震など島原半島でも大きな地震があります。地震について九大の清水先生に伺います。そして富士山をはじめとする全国の火山について国立科学博物館の佐野先生に伺います。

今回の講座は、国立科学博物館と雲仙岳災害記念館が連携した、特別展「富士山、雲仙岳、そして日本の活火山」の開催記念で行われるものです。多数のご来場をお待ちしています。

◆日 時 10月30日(日) 午前10時から12時30分

◆場 所 雲仙岳災害記念館 セミナー室

◆参加費 無 料(ただし定員先着100名)

主 催：雲仙岳災害記念館・国立科学博物館・島原市民文化講座

問い合わせ先：雲仙岳災害記念館 電話65-5555